学校番号	１０２

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	地学基礎　新訂版　（実教出版）						
副教材等	書き込みサブノート地学基礎改訂版（旺文社）　ニューステージ新地学図表（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地球は生命を生み、育み続けてくれるすばらしい星である。その歴史は46億年といわれており、その間に様々な地殻変動が起き、環境が変わり、生物が移り変わってきた。地球が誕生するまでも宇宙の中で100億年という長い時間がかかっており、恒星の超新星爆発などによって重元素が水の存在できる空間内に集結し、奇跡的にでき上がったのが地球である。この歴史を授業で学ぶことになるが、地球のことを知れば知るほど我々が未来でどのように生きていくべきかを知ることができる。さあ、我々がなすべきことを学ぼう！

2　学習の到達目標

我々の周りには地学に関する話題が豊富で、我々自身が宇宙や地球の成り立ってきた歴史の中に位置することを理解し、今後の我々のなすべきことを考えられるようになることが目標である。

一つ一つの単元でのキーワードをしっかりと整理し、過去の地球環境の変化を考える事によって未来の地球について想像する力を育む。「自分がどのように生きるべきか」を考えるための一つの大きな視点を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら地学に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、地球の歴史を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	地学の現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	地学に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	地学の現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察、 授業中の発言、 探究活動の記録、発表	学習状況の観察、 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察、 観察・実験の記録、 定期考査の結果	学習状況の観察、 ノートやワークシートの記述、 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	宇宙の構造	惑星		○		○	a:身近なところの体験と宇宙で起きる現象を結び付けて考えている。 b:星の種類の違いについて理由をつけて説明している。 d:宇宙に関する基本的な知識を身につけている。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		太陽系		○		○		
		太陽	○			○		
		宇宙の構造	○			○		
		宇宙の誕生	○	○		○		
2学期	地球の歴史	地球の形と大きさ	○		○	○	a:自らの経験を地球の内部で起きている現象と関連付けて考えている。 b: 地球内部で起きている現象について理由をつけて考えている。 c:地球の大きさを知りたいというこれまでの人物の思想を理解し、実際の作業によって考えている。 d:地球内部でおきる現象について基本的な知識を身につけている。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		地球の内部構造	○			○		
		プレートテクトニクス	○	○		○		
		火山と地震	○	○		○		
3学期	地層と化石	地層のでき方と対比		○		○	a:進化について自分の経験と結びつけて考えている。 b:環境の変化と大量絶滅の関係について説明している。 c:地層の対比や化石クリーニングの実習によって示準化石の意味を理解している。 d:地層と化石に関する基本的な知識を身につけている。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		地質時代区分		○	○	○		
		古生物の変遷	○		○	○		
		地球環境の変化と大量絶滅		○		○		

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。